平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 1 - 4

1 事務事業の表示

1_	1 事務事業の表示								:該当					
事務事業名 ブロードバンド・ゼロ地域解消事業														
	価 者	担当課名	総務課			担当係名			情報統計係					
評		管理職	職名		課長		<i>U</i>	# *	職名	係長				
			氏名		片岡 カ	J	作成者		氏名		河原 学			
	業の概要	総務省策定(F度繰返	
								成 21			年度)			
事		する。	図るべく、光ブロードバンド環境を整備し町民の利活用を推進						-	国·道支 地方		143,2	290 千円	
	業の概要	7 0 ,						事業	その		8 (000 千円		
								費	一般財	_		580 千円		
									Ī	事業費	計		370 千円	
実 施 方 法 直 営					民間委託 その他 ()			
	第5期総合	計画(前	期)		登載事業	¥		非登載	事業	優	<mark>憂先度</mark> B			
		政策	目 標	4	うるおい	·雄武~	生活	5環境·≤	生活基 ₂	盤の	充実	~		
		基本が	色 策	21	情報通信網の整備・充実									
事業の位置付け		単位が	———— 色 策	1	地域情報化の推進									
		事務事業の	り種類		自治事務		法定受託事務							
		その他計画・		1.0.00										
	実施年度	20年度(実績	<u>1</u>) 21	年度	(実績)	22年月	度(実	(績)	23年度	₹(見	li込)	2	4年度(言	十画)
事	国·道支出金	千日			千円	143,290				千円			千円	
	地方債	干	"		千円			千円	千円		千円		千円	
事業費	その他財源	干	"		千円			千円	4,0	000 千円		4,000 千円		千円
質	雄武町負担額 (一般財源)	千日	円 円		千円	286,5	i,580 <mark>千円</mark>			千円			千円	
	合 計	干	円		千円	429,8	29,870 千円		4,0	000 千円			4,000 千円	

2 事務事業の目的·内容(Plan·Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望まい1指標(目的達成状況を最も端的に表す理 論上の成果指標)					
【抱える課題や ニーズは】	民間通信事業者によるブロードバンド環 境整備の遅れに伴う情報格差の拡大。	ブロードバンド利用可能世帯率					
\\\\	現金桶の延れに仟ブ情報格差の拡入。	指標(指標計算式 / 解説) 目標値及び実績値					
	全ての町民が超高速ブロードバンド(光 ブロードバンド)サービスを利用できる環 境を整備する。	光ブロードバンド環 境整備(利用可能エ					
【どのような状態 になることを目指		リア率・・・居住域) 目標値 100%					
したのか(意図)		<mark>実 績 値</mark> 100 %					
		達 成 度 100.0 %					
【その結果、どの	光ブロードバンドを活用した各種サービスが利用でき、都市部との情報格差解 消が図られ、安心で住みよいまちづくり が推進される。	プロードバンドサービ 目標年度 平成22年度 ス加入促進(加入件					
ような成果を実現		数) 目標値 430 件					
したいか】 成果 = 目的		<mark>実 績 値</mark> 530 件					
/2人 日日	73 1420 1700	達成度 123.25581 %					
内容(どのような手段で何を行ったか)							
光ブロードバン ド環境整備							
IRUブロードバ ンドサービス提供							
ブロードバンド サービス加入促 進 町民に光ブロードバンドサービスの恩恵を実感願うため、関係団体との連携のもと加入促進 活動を行い、利用(加入)者の増を図った。							

3	事務事業の評価	(C	h e	ck'
•			11 0	U IN 1

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業 を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	を実施しなり	ハ場合の支障	は、既存事務事業との機能重複や	見直しによる対心可能性)				
必要	義務的な	なもの	雄武町を含め郡部市町村におい の採算性から、民間通信事業者					
必要/概ね必要/ 課題あり	全部 一部		による整備が不可欠であり、重要					
(2)事務事業の有効	(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)							
有効	設定した目標 状況		光ファイバー網は町内全域(居住希望者全員へ光ブロードバンド	主域)に敷設し、既存町民の利用 サービス提供が可能となってい				
有効/概ね有効/ 課題あり	達成 ほぼ達成 よる 下回る	戉	る。 また、利用希望件数についても: 期待度が伺える。	当初目標を大幅に超え、町民の				
(3)事務事業の効率	性(コストに見	見合った効果	・ が得られたか、計画上のコストを	下げる工夫をしたか)				
	判断(り理由						
効率的 効率的 / 概ね効率	事業費技 人員削減	印制	IRU契約による光ブロードバンドは保守料金等の財源が捻出できるしよるサービスも都市部と同様に利	ばかりでなく、民間通信事業者に				
かく課題あり	その他	111年末 111月	ついて様々な可能性が広がる。					
(4)事務事業の公平			<u> </u>					
	判断の	D理由						
公平	受益者的 受益者的	負担がある 負担がない	町内の特定地域においては、ブロいたが、光ブロードバンドサービス て利用できたものであり、地域に、	スについては、本事業により初め				
公平/概ね公平/ 公平でない	受益が - その他	一部に偏る	など、利用に関する公平性は図ら					
A:計画通り事 B:ほぼ計画通 C:当初の計画	4 総合評価【A ~ D】 A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等							
	価(一次評価		評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)				
HO#I	Δ	/		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
光ファイバー網の整内全域(地域格差な利用も図られている	く)での光ブロ							
今後の展開方 (Action)								
	/ 現状維		*	*				
環境整備は完了した プロードバンドサーと う、利用促進につい	ごスの恩恵を到	実感願うよ						
施する必要がある。 供のためIRU契約なる。	また、安定的な	なサービス提						
*展開方向の区分	単持又は拡充ス	ては縮小又は約	・ 統合又は内容の見直し・変更	終了 休止 廃止				
5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)								